

とよなか市民環境会議



Toyonaka Citizens Environmental Conference

1999(平成11)年 春号(通巻第6号)

特集 平成10年度シンポジウム

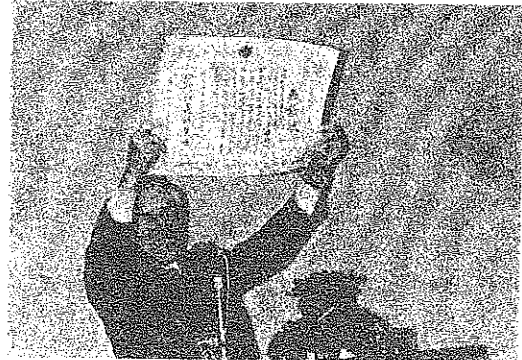
地球温暖化防止活動で大臣表彰などダブル受賞！

去る12月12日(土)、環境展シンポジウムの真っ最中、ワーキンググループ座長・奥野さんによってうれしいニュースが飛び込んできました。

地球温暖化防止活動について、とよなか市民環境会議のこれまでの活動が認められ、環境庁大臣表彰を受賞したのです。

この地球温暖化防止活動大臣表彰とは、地球温暖化防止に関し顕著な功績のあった個人、団体に対し、その功績をたたえるものです。表彰の対象となった活動は「地球環境を守るとよなか市民行動」で、環境教育・普及啓発部門で他の4団体とともに表彰されました。

12月12日、午前中に東京で表彰を受けた奥野さんは飛行機でとんぼ返りし、このニュースをシンポジウムの会場の皆さんに知らせてくれました。

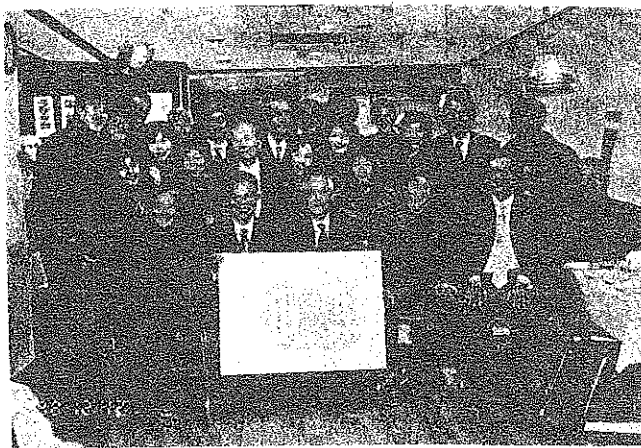


さらに2月3日(水)には、省エネルギーセンターより地域省エネルギー実践活動優秀事例表彰として、省エネルギーセンター会長賞を受賞しました。

この賞は、地域で行っている省エネルギー活動成果の広報活動に対して与えられるもので、他の7団体と共に受賞しました。12月12日の環境展や環境展シンポジウムでの広報活動が評価されたものです。

とよなか市民環境会議が発足されてはや3年が経ちますが、これまでの豊中アジェンダ21づくりや各部会による率先行動に対し、このような形で表彰されたことは、これからの市民環境会議の取り組みへの励みになりますね。

今後も豊中アジェンダ21の推進と共に、地球環境を守るためのさまざまな行動を進めていきましょう。



豊中アジェンダ21できあがる

豊中アジェンダ21最終案が、3月25日役員会で了承、策定されました。この2年間の各部会やワーキンググループを中心に条文作成作業に取り組んできた成果がまとまりました。

この豊中アジェンダ21の内容については、6月18日の市民環境会議総会で発表します。また、ニュースレター臨時号で紹介しますので、お楽しみに！

本号のハイライト

- P.1 地球温暖化防止活動で大臣表彰
- P.2 豊中アジェンダ21(案)公表される
- P.4 災害と環境シンポジウム
- P.6 行動する4つの部会

環境展 '98 シンポジウム

豊中アジェンダ21・豊中市環境基本計画の各案発表される

12月12日(土)午後2時より中央公民館においてシンポが開催され、第1部で次の案が発表されました。

市民がつくった豊中アジェンダ21(案)

とよなか市民環境会議は、平成8年に市民、事業者、行政の3者が私たちの子、孫の時代である21世紀の地球環境を守るために、これからどうしていこうかということで発足しました。

その中で、目的に添い活動していくワーキンググループが生まれました。さらにアジェンダ21を策定するため四つの部会が設けられ、それぞれの活動を通して考えてまいりました。ここに活動報告をさせていただくのは、中間報告案でございます。

これから、多くの市民の皆様いろいろなご意見を出していただき、環境に配慮した暮らしや活動に一人でも多くの市民が取り組めるものになりたいと考えております。

私が3年間の取り組みで気づいたことは身近なことで、「皆さん、共通の部分をもって」ということです。私は、環境を健康と

という言葉に置き換えて考えています。自分や家族の健康を考えたときに、今のダイオキシン…皆さん考えますよね。環境に優しいじゃなくて、健康に優しいと置き換える。もし、同感だっている方がいらしたら救われます。

(とよなか市民環境会議
ワーキンググループ 村上深雪)



豊中市環境基本計画(案)のあらまし

豊中市環境基本計画(案)は行政の計画が中心になっています。市民の皆さんの参加による環境問題懇談会では、ワークシートにていろいろな意見を聞かせていただきました。市民による環境目標ということで、アジェンダ21と環境基本計画が同じ一つの目標の両輪になることを考え、会議、会合を重ね、いろいろな意見を反映させながら作りました。

(豊中市生活環境部 中島一憲)



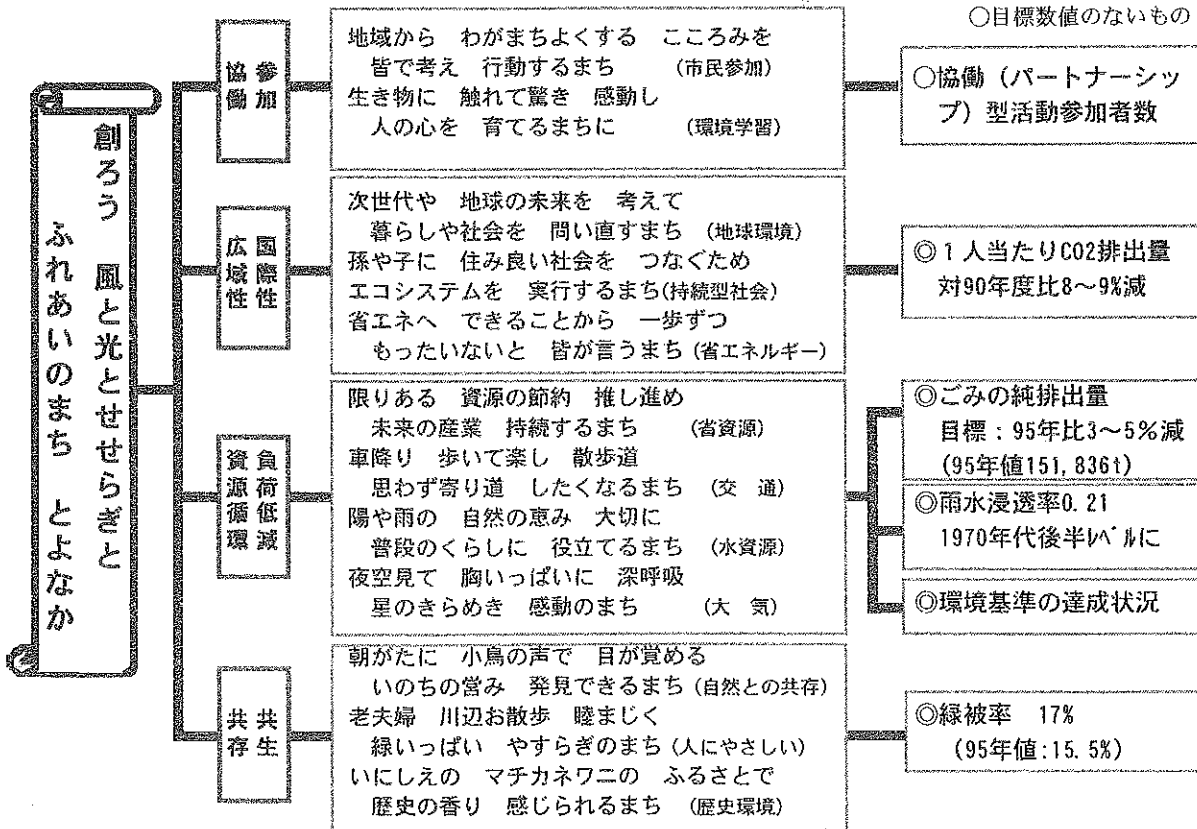
豊中アジェンダ21・環境基本計画の理念と目標

めざすべき理念

望ましい環境像

環境目標・指標

注) ◎目標数値のあるもの
○目標数値のないもの





私たちは行動から何を学んだか ダイジェスト版

続く第2部では「私たちは行動から何を学んだか」と題し、日頃生活の中で実践されている様子をお話いただきました。ここでは、その一部をご紹介します。

「シンプルライフは環境家計簿から」

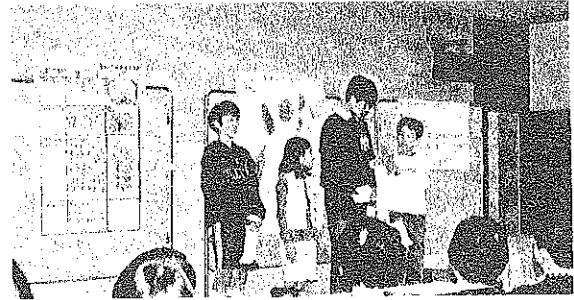
家計簿は自分の生活を考え直し、省みる一番身近なものです。これをつけることで、我が家の様々な経済的な山を乗り越えてきました。しかし現在の私達はCO₂やゴミという新しい山を抱えています。それに気づき、乗り越えていく手助けとなるのが環境家計簿なのです。環境庁版、豊中市民作成版、私は二つの環境家計簿を経験しました。

まず環境庁版をつけた時は、メーター調べで基本使用量が掴めてきたり、トレー等を数えてモノの多さに気づきましたが、つける項目が多すぎて続けられない友人がほとんどでした。

そして今度は豊中市民版の環境家計簿を、再度誘い合ってつけ始めました。楽しみながら続けられるようにエコライフ部会が工夫をいっぱい凝らした家計簿です。例えば通勤通学は、車の人と公共交通利用の人とのCO₂量の違いが、計算式で簡単に分かります。トレーやアルミなどは毎月1項目をチャレンジコースとして選ぶという様に負担を減らしています。一緒につけている人で比べると太陽熱利用の人、車通勤の人、ゴミを堆肥化している人などで特徴が分かり、様々な発見がありました。また去年より5~10%のCO₂が減った人もいました。

美しい世界を未来に残すための一歩は、皆と一緒に楽しみ、発見、持続できてこそです。省みることでちょっと節約、そして発見できる、アイデアいっぱいの市民版環境家計簿。ぜひ、お仲間になって下さい。いっしょに取り組みましょう。

(生活部会 稲垣和美)



「剪定した枝が堆肥になった！」

夏休みに剪定した枝や葉を集めシートが掛けられました。10月と11月に山を崩し、また元に戻す作業をしましたが、特に変な臭いもなく、本当の山の中に入ったような臭いでした。触ると温かくサラサラしていました。次に粉のような砂糖のような薬を振りかけ、水をまいて山に積み上げました。その後、キノコが生えたりカビが生えたりして、全体が黒っぽくなってポロポロになっていきました。

泉丘小学校で堆肥づくりをするようになったのは、畑が多いこと、木の枝や葉を燃やせばCO₂が出るので、堆肥にすれば畑の肥やしにもなり野菜づくりにも役立つと思ったからです。今までにたくさんの野菜や果物や花などを育てるのに、袋に入った肥やしを買っていましたが、来年からは買わなくて済みます。なぜなら今年初めて剪定枝から堆肥ができることを知ったからです。

来年度の委員会にも引き継いでいき、野菜づくりなどに積極的に取り組んでいきたいと思えます。

(泉丘小学校 児童会・栽培委員会)



「量販店から見たマイバッグ運動」

今まで私たちは自分の生活を振り返るよりも周りの環境を変える様な形の発展をしてきました。これからはもう一度地球を再生し直す様な新しい知恵が必要です。その小さい一歩がマイバッグです。

例えばメーカーにこんな再生ペットボトルの糸を作って下さい、それで袋を作り我々が店頭において市民に買って頂きましょうと言う。これはまさにパートナーシップです。今まで再利用にしろ回収しても行き先がないのが問題でした。マイバッグ運動には、行き先を確実にして循環させるという戦略も含まれているのです。

買い物袋スタンプ制キャンペーンでは、7月の利用者は0.5%だったのが等速的に伸びて11月に3.6%と非常に高い。これならお客さんの間でも目について広がり始めるし、このまま7%位に伸びると、企業にとっても他と全く意味の異なる地域。有料化なども成功できる様になるでしょう。キャンペーンは現時点で着実に成果が上がっていると申上げられます。

(イズミヤ総務部 井上健雄)

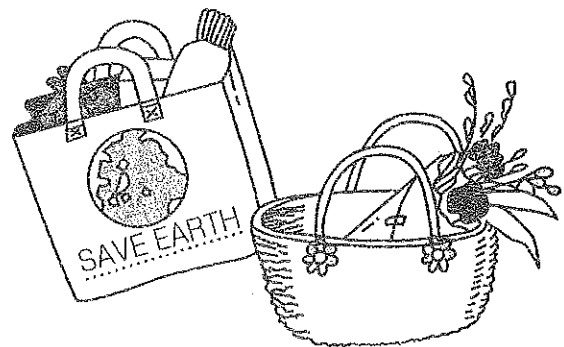
このマイバッグ、アイトリングストップキャンペーンの結果は6・7ページに紹介しています。

「ストップアイトリング運動を実践して」

ストップアイトリングのステッカー、私どもの教習車両53台と送迎用のバス4台全部に貼り付けています。しかし授業内容を変更するのは、この業界は非常に行政指導が厳しく、エコロジーカーの採用もだめ、分刻みにスケジュールが決まっています。一部法令の改正を機に、有害廃棄物や騒音の項目が増えましたが。

しかし、授業担当の指導員はこれを機会に、アイトリングストップについて説明する時間を加えているようです。貼ったら即効果があるとかどうのこうのではなく、草の根運動みたいに、入り口で少しでも理解してもらえるチャンス、問題提起をできるチャンスになればと取り組んでいます。

(豊中自動車教習所長 堀 正恒)



災害と環境シンポジウム、大いに語り合う

1月16日(日)くらしかんにおいて、災害と環境シンポジウムが開催されました。その様子をチョコッと紹介いたしましょう！

- 1部 災害 地域防災計画の説明と講演
- 2部 環境 基本計画とアジェンダ21の説明
話題提供、パネルディスカッション

話題提供「地域の環境とマネジメント」

アジェンダ21が宣言されて、いろんな課題を実行するために国が動き、自治体にこうやって下さいという流れがあって、それがすごく分かりにくいんです。

イギリスは290の自治体がローカルアジェンダ21をパートナーシップ方式で進めている事例があり、世界で一番進んでいると評価されていますので、良い見本になります。その見本と自分の距離がわかれば、どう縮めればいいのか分かって行くので、よくイギリスの例を調べてみるんです。

ところが、日本となると事業者や行政自身の計画が入ってこないのは何でかな？と。でも、豊中のアジェンダ21は、日本の中でも比較的まれな、本来の意味でのローカルアジェンダの取り組みに近いことをやっておられ

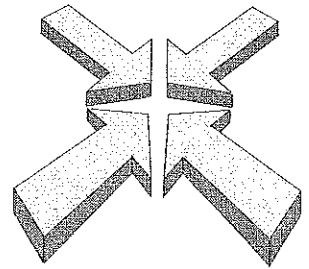
て、すごく注目しています。豊中でやっていることが、地球の中ではひとつの大きな例になってるということをぜひ思って、今後張り切って発展させていって欲しいと思います。

まず、プロセスそのものがおもしろい、何回も会議が開かれたり、たくさんの行動提案がされているのでびっくりしました。今後、年次報告書をどう作っていくかという話になっていきますが、情報公開がないとうまくコミュニケーションがとれないので、市民参加に充実を図る場合、パンフレットやホームページの作成、海外の自治体と姉妹都市交流みたいなことをやるとか、まだまだ工夫がたくさんできると思います。

(環境自治体会議 角田季美枝)

トークバトル！パネルディスカッション

第2部のパネルディスカッションでは、コーディネーターの中口さん、市民環境会議の奥野さん、易さん、アドバイザーの佐川さん、環境自治体会議の角田さん、環境課の中島次長、会場の皆さんからもなご意見をいただきました。



中口さん

市民環境会議に参加して、どんな感想をお持ちですか、ご苦労とか。

自然部会の三つの柱、「親しみ学ぶ、守り育てる、作り広げる」について、失われていく自然をいかに保全するか、法律や条例がこの課題を可能にしてくれるのか、市民、事業者、行政のパートナーシップで、とよなかの自然環境を守るといふことにどう繋げていけるかなというのが、私たちに課せられ、問われていることだと思います。

企業の現状はどうですか。



角田さん

企業として消費者に物申したいという部分と、消費者の方が企業に言われたいということがぶつかったような点があって、その辺に答があるような気がします。ごみ問題、古紙の問題も多くの方の知識が必要ではないかと思います。

地球に易しい買い物ガイドというのが94年に作られています。環境に配慮した店の物を買おう、環境に配慮した製品を選んで買おうと、消費者の全国的なネットワークで起こしています。古紙100%のトイレットペーパーは売ってない、店に置いても買ってくれない、それは何故だろうと考えてみると、環境に配慮という表示がされているとか、省エネ設計の電化製品ですよとか、消費者の目にとまらないからということです。お互い思っていることが食い違っている感じがしますので、ぜひ何かやってみたら出てくるものもあると思います。

再生紙を買いに行っても売ってない、ごみを民間委託したら経済原則で、みんなリサイクルされないで捨てられるんじゃないか、企業は本当にまじめにやってくれるのか、いろんな思いを持って運動を続けています。



奥野さん



易さん

電気を休憩時間に消しましょう、5時過ぎたら消しましょう、コピー用紙は裏表使いましょうとか、易しいことばかり、今までも出来たことを改めてやりましょうということで、会社に持ち帰ってみんなの意識向上にいくらか役立ったと思います。でも、街中ライトアップされていたりすると、自分のやっていることがどれだけ役立つかなど思ったりします。結局、効果をもたらすためには、いかに多くの人が集まって実行するかということにつきるんじゃないかと思います。



佐川さん

行政というのは地域の最大の事業者と言えます。事業の主体は税金で運営されているという意味から率先行動をする必要があると考え、エコオフィス宣言を行いました。紙の使用量の減量、循環、エネルギーの節約など、単に事業者としての取り組みではなく、市民の立場で積極的に運動を進めて参りたいと考えております。

これから重要なことは、豊中アジェンダ21にどれだけの市民が参加するかだと思います。1つには市民がどう行動すればCO2が何パーセント減るとか成果が見えやすいものにする事です。2つ目は今まで関心のなかった方をどう引き入れるのか、市民が参加しやすい仕組みを考えましょう。3つ目に行政の施策とアジェンダがどう関係があるのか、そんなことも市民がチェックし考えていくべきだと思います。

行動する4つの部会・今年度の成果

生活 (エコライフ) 部会・マイバッグキャンペーン

家庭ごみの約6割が容器包装ごみで、中でもお店で買うレジ袋は、1世帯1日 1.78 枚を使い、大半がごみとなっています。もし一人ひとりが買物袋 (マイバッグ) を持てば、ずいぶんごみが減り、最近話題のダイオキシンや環境ホルモンを減らすことにもつながります。

そこでエコライフ (生活) 部会では、メンバーが量販店や行政と協力して、11 月をマイバッグ運動月間とし、ポスターやチラシを配り、またスーパー6店でアンケートを行いました。

◆実施日 11月13(金)・14(土)・15日(日)

◆回答数 840人

◆協力店 イズミヤ庄内店、関西スーパー北緑丘店、大丸ピーコック千里中央店、ジャスコ豊中店、ダイエー曾根店、大阪北生協桜塚店、くらしかん「生活展」

♪いつも買物袋を持って来ますか？

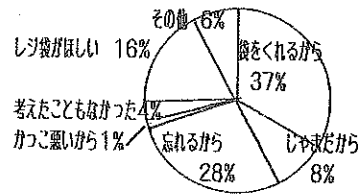
女性 33% いつも 34% 時々 33% ない

男性 16% 28% 56%

全体 31% 33% 36%

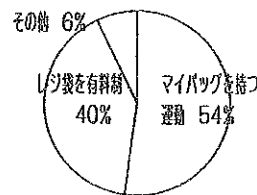
いつも買物袋を持ち歩く人は全体の1/3、ときどき持って来る人を含めると多数派でした。でも男性では逆に少数派です。年代別では、30代以上、特に60代以上の大半が買物袋を持参しているのに対し、10代20代のほとんどは持参していませんでした。

♪買物袋を持って来ない理由はなぜですか？



先の質問で「いいえ」「ときどき」と答えた人に聞きました。「レジでくれるから」が最も多く、次いで「忘れる」「レジ袋が欲しい」の順になっていました。「しゃまだから」とか「かっこ悪い」という回答も少数ながらありました。

♪レジ袋減らす為にどんな方法がいいですか？



この質問は多くの方が戸惑ったようでしたが皆さん真剣に考えて答えてくださいました。「レジ袋を有料にする」に40%の人が賛成されたのに勇気づけられました。これからも遠い道のりかも知れませんがマイバッグを持つ人が1人でも多くなり、やがてレジ袋はいらなくなる豊中にしたいなと思います。

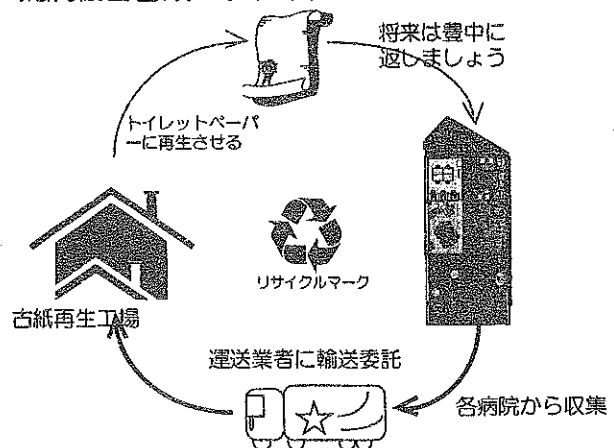
産業 (エコインダストリー) 部会・機密書類を燃やさずにリサイクル

病院から出るたくさんの機密書類はこれまでほとんど燃やされていました。豊中市病院連絡協議会では、市の協力を得て、この書類をリサイクルさせる検討を行ってきました。そのなかで、兵庫県竜野市にある西日本衛材㈱が機密書類をそのまま溶かし、再生させる施設を持っていることがわかりました。また、同社の製品を大阪に運んでいる㈱新宮運送が、帰りの便で、豊中から同社の機密書類溶解釜まで運搬してもらえることもわかりました。

そこで、昨年11月末におこなわれた第1回の機密書類リサイクルでは、それぞれの病院の機密書類をダンボールに封印して所定の広場に持ち寄り、そこで待機していた大型コンテナ車に積み替えて施設しました。そして機密を保ったまま工場に運ばれ、封印したダンボールごと書類は無事に溶かされました。集まった書類は約5.8トン、経費は運送費用だけで全部で4万円強と安い価格で行うことができました。

西日本衛材㈱では、処理費用は要らないけれど、書類の量に応じて、同社のトイレットペーパーを購入して、リサイクルがうまく回っていくように協力してほしいとのことです。

病院機密書類のリサイクル



自然（ビオトープ）部会・ビオトープづくり

多様な生き物たちが生息する空間、ビオトープづくりが十五中で始まりました。ビオトープとは、ドイツ語でビオ（bio）＝生命、トープ（tope）＝場所のことで、多様な動植物が生活する空間を意味し、小さなものはトンボ池とも言われます。

十五中ではビオトープづくりにあたり、教職員はもちろんPTA、地域の方たちが協力するビオトープ委員会が作られました。生徒たちはまずどんなビオトープがいいか、生徒会を中心にアンケート調査を実施し、563名全員の声を聞くことができました。

あなたはビオトープづくりに協力しますか？

- ビオトープに興味がある 216人
- 計画に参加し意見を言いたい 45人
- 池を掘る工事に参加したい 87人
- 魚などの動物を捕りに行く時に参加したい 117人
- 植物の採集に参加したい 60人
- 魚、虫などを池に放す時に参加したい 110人
- 植物を植える時に参加したい 67人

ビオトープについての意見

- もっと早くしてほしい。（3年生）
- やるからには大きく広いのを作ってほしい
- 植物の植えすぎはよくない。近寄りがたくなるから
- 自然をいっぱいにしてほしい
- 棒を使ってトンボが孵化しやすいようにしてほしい
- 多くの虫をいれてほしい
- 途中であきらめたり、誰も手をつけずにすたれることのないようお願いしたい

その後の委員会では、このアンケート結果に答え、池の形や周りに植える植物、池に放つ動物など生徒の意見を生かしたビオトープにしようとして、生徒たちもスコップを手にし、一輪車を押すなど力を合わせて工事が進んでいます。

これまで自然部会では剪定枝の堆肥化でも小・中学生の参加協力を得て取り組んできましたが、今回のビオトープづくりでは、生徒、地域の大人や事業者の方々の協力で、共に汗を流す取り組みができています。

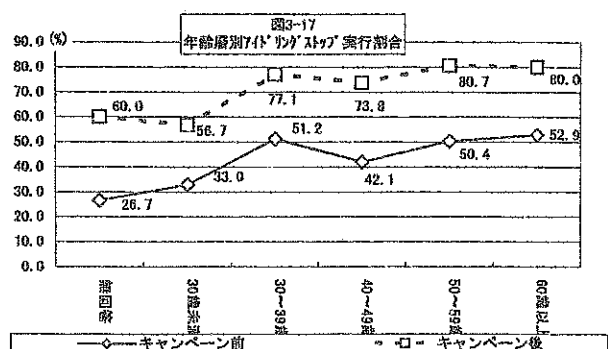
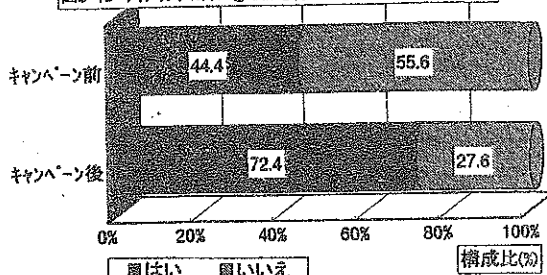
自然部会は今後も子どもたちや多くの方々とパートナーシップを組み、自然に親しみ、自然環境を保護・保全する活動を広く進めていきたいと思っています。

交通（エコラフィック）部会・アイドリングストップアンケート

最近、アイドリングストップのコンマが流れたり、自動車メーカーのコンマでもエコドライブについてずいぶん取り上げられるようになりました。消費者たるドライバーにとっても、エコドライブに関心を持たざるを得ない状況に変化してきたのではないのでしょうか。

交通部会では、昨年7月に行ったアイドリングストップキャンペーンの前後に、アイドリングストップについてのアンケートを実施しました。キャンペーンあるいはその他広報活動が実際にアイドリングをやめる行動に結びついたことがこのアンケート結果からも分かります。

図3-16 7台「リング」ストップを意欲して実行したことがありますか



このキャンペーンで配布したステッカーをなかなか見かけないという話も耳にします。しかし広めると言うことは、とても大変で大いに知恵がいることです。環境について交通という分野はまだまだ取り組みが少ないのが現状です。誰もが取り組めるアイドリングストップを普及推進するために、市民、事業者、行政すべての立場の人々が意見や知恵を出し合うことが必要です。みなさんでアイドリングストップのブームを起こしましょう。

参加しようか！とよなか市民環境会議

あなたが主役！とよなか市民環境会議

とよなか市民環境会議では環境というめがねをかけて、月1回、お茶を飲みつつワイワイと語り合っています。そうしながら、実は、私たち自身の生活環境や社会の未来を創り出してしまおうという不思議な新しい場です。

生活・交通・産業・自然部会でのアジェンダ21づくりや見学会、エコキャラバン（大学生による環境出前講座）、様々な交流、寸劇（死ぬ迄に見ておこう）、最近アジェンダ21を英訳してインターネットでアジアの他国に送ろうプロジェクトなど、活動をおもしろい様に広げています。

人のつながりの中に立てば、自分にできないと思っていたことがどんどん実現できます。見えなかったものが見えてきます。生活・環境問題に興味のある方・ない方、里山づくりをしたい方・したくない方、エコキャラバン隊を手伝いたい方・たかない方、このニュースレターを書き直したい方、皆さん一度のぞいてみて下さい。何かが見つかるでしょう。言うは難く、行うは易し、なのです。なにしろ、普通の市民や市役所、企業の人が集まって井戸端会議、これだけでパートナーシップを始められるのですから。

あなたが参加することで、人間の虹の輪がもっともっと豊かになっていくでしょう。さあ、いまずくとよなか市民環境会議事務局へお電話を！

創作民話「マチカネワニとフロリダワニ」

19**年、マチカネワニは再び豊中待兼山の地上に出て来ました。

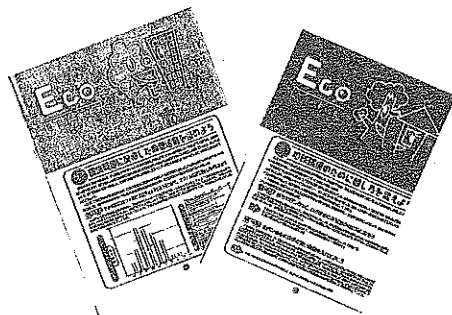
驚いたことに、地球は人間のしてきたことにより、土や水や空気まで危機にさらされていたのです…。

そんなある日、フロリダワニがマチカネワニに相談しました。

「最近、フロリダも住みにくくてね」
「それは、環境ホルモンのいたずらなのさ」
「環境ホルモンってのはどんなもんだい？」
「環境ホルモン（外因性内分泌攪乱化学物質）はね、精子の数を減らしたり、生殖器の異常を起こすんだよ」

私たち人間の体も環境ホルモンに対処する機能はありません。マチカネワニが残したワニのいのちや私たちのいのちを、私たちは子どもたちに伝えられるのでしょうか？

もののいのち、心のいのち、人間のいのち、もう一度それをふき返す一歩を踏み出そう。マチカネワニは、これからも豊中のみんなの営みを見守っています…とさ。



産業部会、生活部会からリーフレットが作成されました！！

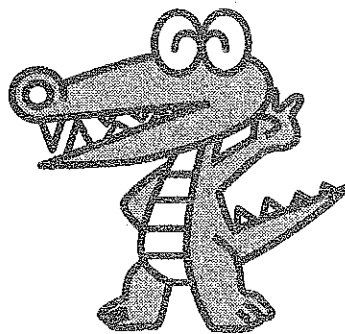
エコオフィスチェック運動を進めてきた産業部会が、このほど「エコオフィスー環境問題に配慮した事業活動を進めよう」というリーフレットを作成しました。

これはエコオフィス21活動の集計結果をまとめたもので、その他豊中アジェンダ21の行動提案も載っています。

また、生活部会でも「エコライフー地球環境のために暮らし方を変えよう」というリーフレットを作成しました。

こちらは同じく行動提案と共に、豊中版環境家計簿の集計結果と、11月に行った買い物袋（マイバッグ）持参運動でのアンケートの集計結果をまとめたものです。

2つのリーフレットは事務局である市役所環境課にありますので、ご希望の方は取りに来て下さい。



編集者から

今号は編集を初めて市民参加で行いました。左の民話も大学生のアイデアで他の文庫はみんなで分担しました。編集をしてみたいアナタ！いっしょに取り組みましょう。

担当・E三宅、N畠田
P大村、W高野

発行：とよなか市民環境会議
事務局：豊中市生活環境部環境課内
編集責任：豊中市生活環境部環境課長
〒560-8501 大阪府豊中市中桜塚3-1-1
TEL：06(6858)2106 FAX：06(6842)2802

★とよなか市民環境会議は、市民・事業者・行政の
パートナーシップ組織です